

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
アップルスポーツカレッジ	平成5年12月6日	学校長 高山 俊彦	〒950-0932 新潟市中央区長潟2-2-8 (電話) 025-286-5191			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 国際総合学園	昭和32年 10月 10日	理事長 池田 弘	〒951-8065 新潟市中央区東堀一番町494番地3 (電話) 025-210-8565			
目 的	現在、精神的豊かさを取り戻すことが求められる我が国の現状を踏まえ、国境や文化・年齢を超えてスポーツを楽しむことが推奨されている。こうした国際化・多様化していく生涯スポーツ及び健康の育成におけるスペシャリストの果たす役割はますます大きくなっている。また今後の日本スポーツ界発展の為に、国際化する社会をグローバルに見つめ時代の変化に柔軟に対応できる能力をもつスポーツスペシャリストの育成と、その基盤となる地域スポーツ振興が今まで以上に望まれていることは明らかである。これらから本校は、スポーツ、教育、文化活動を通して、日本スポーツ界の発展並びに、地域、国家社会の発展に寄与することを目的とする。具体的な活動として、スポーツ・健康・ビジネスを3つの柱として、競技スポーツの向上・生涯スポーツの普及・ビジネス能力の習得を目指す。スポーツを通じて学んだ知識・経験を幅広く活かせるスポーツアドバイザーを育てる為、プレゼンテーションやビジネス能力の向上だけではなく、指導力の向上も目標とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・ 教養	文化・教養 専門課程	スポーツビジネス科(スポーツメンテナンスコース)	2年 昼	2574単位時間 (メンテナンスは 2334 時間)	平成15年 文部科学省告示 21号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	690時間 (又は単位)	1164時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	480時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	27人	4人	1人	5人		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期：4月1日～9月30日</li> <li>■ 後期：10月1日～3月31日</li> </ul>			成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表(有)</li> <li>■成績評価の基準・方法について A～Eの評価でEは単位不認定</li> </ul>	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月9日</li> <li>■夏 季：7月31日～8月31日</li> <li>■冬 季：12月26日～1月7日</li> <li>■学 年 末：2月20日</li> </ul>			卒業・進級条件	進級基準・卒業基準は、年間54単位以上の修得	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制(有)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 個別面談・保護者との連携等</li> </ul>			課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類</li> <li>■サークル活動(有)</li> </ul>	

就職等の状況	<b>■主な就職先、業界等</b> <b>■就職率<sup>※1</sup> 100%</b> <b>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup></b> 92.2% <b>■その他（任意）</b> （平成25年度卒業者にに関する平成26年3月時点の情報）	<b>主な資格・検定</b>	販売士検定3級 サービス接客検定2級 コミュニケーション検定初級 WORD文書処理技能認定試験3級 EXCEL表計算処理技能認定試験3級 POWERPOINT <sup>®</sup> プレゼンテーション技能認定試験初級
中途退学の現状	<b>■中途退学者 8名 ■中退率 2.2%</b> 平成25年4月1日在学者 364名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 356名（平成26年3月卒業生を含む） <b>■中途退学の主な理由</b> 目的意識の低下、学修意欲の低下、経済的理由等 <b>■中退防止のための取組</b> 個別面談の実施、各種アンケートの実施及び分析等		
ホームページ	URL: <a href="http://www.applesports.jp/">http://www.applesports.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月8日現在

名 前	所 属
村山 哲二	ベースボール・チャレンジリーグ
池田 拓史	(株)新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
早川 貴章	(株)新潟バスケットボール
高山 俊彦	アップルスポーツカレッジ 学校長
石井 和昭	アップルスポーツカレッジ 副校長
本間 圭一	アップルスポーツカレッジ 教務部長
西海 幸頼	アップルスポーツカレッジ 健康スポーツ科科长
佐野 英朗	アップルスポーツカレッジ トレーナー科科长
鹿間 宏海	アップルスポーツカレッジ プロスポーツビジネス・スポーツビジネス科科长

(開催日時)

第1回 平成26年10月1日 18:00～19:00

第2回 平成26年10月8日 18:00～19:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を目指し、現場に必要とされる即戦力の人材を育成する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
メンテナンスⅠ	グローブのメンテナンス方法(紐通しやグリス注入) やスパイクのメンテナンス方法を学ぶ	ベースボールショップエイオティナイン

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

企業・業界団体の基礎知識・技術はもちろんの事、最新の業界動向・市場を企業側と学校担当者は密に連携をして、情報収集及び最新の知識・技術を体得していく。学校担当者は業界側と同じ着眼点やレベルで学生指導ができるように努める。また学校側として職員レベルに合わせて計画的に研修を遂行し、人材育成に努める。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月8日現在

名 前	所 属
内藤 真理子	(株)新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
植野 翼	(株)新潟アルビレックスランニングクラブ
蟻浪 亮	(株)新潟プロバスケットボール
高山 俊彦	アップルスポーツカレッジ 学校長
石井 和昭	アップルスポーツカレッジ 副校長
本間 圭一	アップルスポーツカレッジ 教務部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: URL: <http://www.applesports.jp/>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: URL: <http://www.applesports.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程スポーツビジネス科スポーツメンテナンスコース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			パソコンⅠ	WORD 検定 3 級検定対策授業	1 年 前 期	60	4		○	
○			パソコンⅡ	EXCEL 検定 3 級検定対策授業	1 年 後 期	60	4		○	
○			パソコンⅢ	POWERPOINT 検定初級対策授業	2 年 前 期	30	2		○	
○			パソコンⅣ	ホームページビルダー検定対策授業	2 年 後 期	30	2		○	
○			ホームルー ム	年間、半期、1 週間の連絡 個人面談	1 ・ 2 年 通 年	120	4	○		
○			コミュニケ ーション学	コミュニケーション初級検定対策授業	1 年 前 期	30	2	○		
○			就職実務学	就職活動を円滑に行うための対策授業	1 年 後 期	30	2	○		
○			販売士検定3 級対策	販売士検定 3 級対策授業	1 年 通 年	240	16	○		
○			スポーツ産 業論	スポーツを取り巻く環境（メーカー・ショ ップ・スポーツクラブ）について学ぶ	1 年 通 年	60	4	○		

○			指導演習	球技を行ううえでの指導方法を学ぶ	1年 通年	120	8		○	
○			スポーツ実技	あらゆるスポーツのルールや競技特性を学ぶ	2年 通年	120	8		○	
○			トレーニングⅠ	体力強化とともにトレーニング方法を学ぶ	1年 通年	60	4		○	
○			トレーニングⅡ	体力強化とともにトレーニング方法を学ぶ	2年 通年	60	4		○	
○			現場フィードバック	現場実習の振り返りを行う	2年 通年	60	4	○		
○			ショップセール企画法	スポーツショップのプロモーション方法を学ぶ	2年 通年	60	4	○		
○			サービス接遇検定対策	サービス接遇検定2・3級検定対策	1年 通年	60	4	○		
○			スポーツショップ業界情報	スポーツショップ見学や市場調査を行いスポーツショップの現状を学ぶ	1年 前期	30	2	○		
○			メンテナンスⅠ	野球のグローブのメンテナンス方法を身に付ける	1年 前期	120	4		○	
○			メンテナンスⅡ	テニス、バドミントンのガットの張り方を学ぶ	1年 後期	120	4		○	
○			メンテナンスⅢ	野球のグローブ、スパイクのメンテナンス方法を身に付ける	2年 前期	120	4		○	
○			メンテナンスⅣ	スノーボードのメンテナンス方法を身に付ける	2年 後期	120	4		○	

○			現場実習	スポーツショップや販売店で実務を身に付ける	2年 通年	480	16			○
○			STEPUPCAMP I・II	スポーツビジネスの業界で活躍されている方から講義を行って頂き、理解を深める	1・2年 前期	48	4			○
○			SKILLUPCAMP I・II	にいがた用具が作られている現場やスポーツショップの見学や	1・2年 後期	48	4			○
○			STEP 研修 I・II	業界の一線で活躍している方々より講義を頂き、知識・技術の向上を図る	1年 前期	32	2			○
○			日赤救急 法・蘇生法	日本赤十字社救急法救急員取得のための対策授業及び検定	1年 前期	16	1			○
合計				26 科目	2334 単位時間 (121 単位)					